

●パラナ州治安情報（ストライキに突入する市民警察：報道振り）

2月17日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、19日午後より、パラナ州市民警察がストライキ突入を予定している旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1 各市民警察組合の動向

(1) 2月16日、市民警察階級組合（Sinclapol - Sindicato das Classes Policiais Civis：書記、巡査及び捜査官による組合）は19日午後よりストライキを実行する旨正式に公安局に対し通告した。

(2) なお、ジャイロ・エストリリオ（署長）／パラナ州署長組合長（Sindepol - Sindicato dos Delegados de Policia do Parana：署長のみによる組合）は「署長階級は本件ストライキを支持するもストライキに参加しない。従って、必要最小限である通常勤務（週40時間勤務）のみ行う」旨述べた。

2 ストライキによる影響

(1) 市民警察階級組合によるとパラナ州全体で通常一日当たり1,500名の市民警察官が勤務するも、ストライキ中は通常の30%である約450名のみが勤務する。

(2) 市民警察殺人課のみがストライキを行わず、通常通り勤務する。

(3) 市民警察はストライキ中、警察署及び留置所（留置場内の被拘禁者管理も含む）の警備に重点を置き、且つ、各種被害届受付及び殺人事件に対応する必要最小限の業務は行う。

(4) 市民警察がストライキに入ると市民警察が行っている捜査活動及び取調べ等が事実上不可能となるため、特に司法に関わる警察業務の遂行が困難となる。